

美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン（概要）

美しく、強く、しなやかな「静岡型」地方創生の推進

～ 人々を惹きつけ憧れを呼ぶ、日本の理想郷を創る ～

- 「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」
～ポスト東京時代の日本の理想郷を創る～
- 「住んでよし 訪れてよし」「生んでよし 育ててよし」「学んでよし 働いてよし」の理想郷
- 「富士山」から導き出される多様な価値に立脚した地域づくり、人づくり
- 世界水準の魅力にあふれ、国内外の憧れを呼ぶ県土づくり

～ 人口減少克服・地方創生の先導役を担い、静岡型で挑む ～

- ① 総合計画の重点取組に「人口減少社会への挑戦」を掲げ、いち早く取組に着手
- ② 国に先駆け設置した有識者会議からの提言を得、人口減少対策を構築
- ③ 他の範となる本県独自の先駆的な「まち・ひと・しごと」の創生に向けた取組を推進

人口減少社会の克服に向けた基本姿勢

- 県民の英知を結集したオール静岡の取組で未来を変える
- 人口減少対策の基本的視点
 - ・ 人口減少社会に対応した新たな社会システムを「創造」する発想と実践
 - ・ 静岡の特性を活かした「魅力」の最大化

人口減少社会の克服に向けた戦略

- 人口減少の「抑制」戦略
人口減少の急激な進行を抑制し、社会が安定する静止人口状態の緩やかな実現に向けて、人口の自然減対策と社会減対策に取り組む

両面からの取組による相乗効果の発揮・好循環の確立

- 人口減少社会への「適応」戦略
これまで築いてきた社会に代わる、人口が減少しても快適で安全な社会を創造する

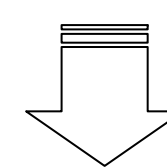
目指すべき将来の方向

- 若い世代の子どもを2人以上持ちたいとする希望をかなえる
- 本県で働き、住みたいとする希望をかなえ、東京圏への一極集中に歯止めをかける
- 日本一「安全・安心」な県土を築き、県民の不安を払拭する

人口の将来展望

◎ 本県人口の長期的な見通し（社人研推計ベース）

○人口 2060年 238万7千人
○高齢化率 2060年 38.5%



対策

・合計特殊出生率 2020年に2.07
・社会移動 2020年に均衡

◎ 本県が目指す将来の姿

～将来にわたって活力ある静岡県を維持する～

○人口 2060年 300万人程度の人口を確保
※長期的には290万人程度で安定的に推移
○高齢化率 33.9%(2045年)をピークに低下、25%程度(2080年以降)で安定
76歳までを社会で元気に活躍できる世代と捉えるならば、15%程度^(注)まで低下(2080年以降)

図1 将来人口の長期的な見通し

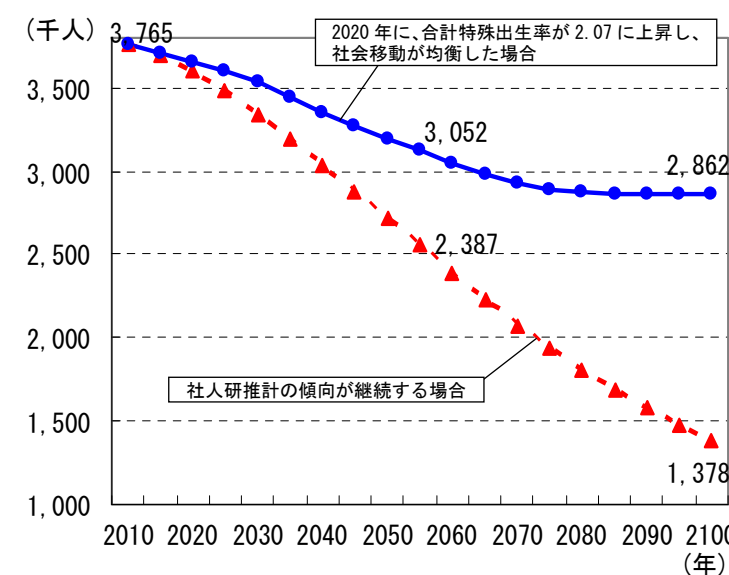
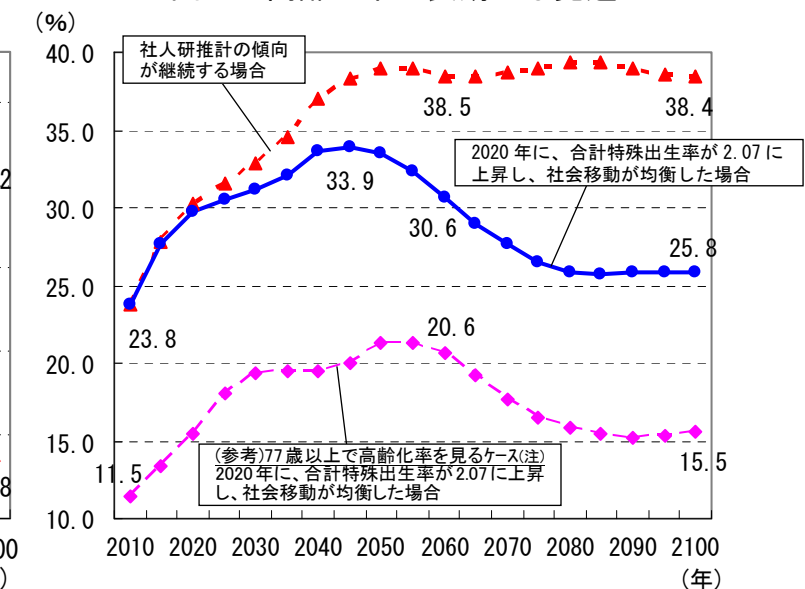


図2 高齢化率の長期的な見通し



(注) 将来人口は年齢5歳階級ごとに推計しているため、75歳以上人口により比率を算出している。

地域ごとの人口の将来展望

- 2060年の将来人口は、社人研推計ベースに対し、伊豆半島地域は40%程度、他の4圏域は30%程度上回る
- 2060年の高齢化率は、社人研推計ベースに対し、伊豆半島地域は12ポイント程度、他の4圏域は7～9ポイント程度低下し30%程度。長期的には、5圏域いずれも25%程度で安定。76歳までを社会で元気に活躍できる世代と捉えるならば、高齢化率は、5圏域とも15%程度^(注)まで低下